

**ALESIS<sup>®</sup>**

**CRIMSON II** ADVANCED  
DRUM MODULE

**ユーザーガイド**

# 安全にお使いいただくために

## この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

### 製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。  
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[ WEB ] <http://alesis.jp/>

# ALESIS

<お問い合わせ>

**inMusic Japan 株式会社**  
**カスタマー・サポート部**

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23  
オーク南麻布ビルディング6階  
<http://alesis.jp/support/>

## ユーザガイド

### はじめに

### 同梱品

- ・ Crimson II Drum モジュール
- ・ ユーザーガイド/保証書
- ・ 電源アダプター
- ・ USB ケーブル

### サポート

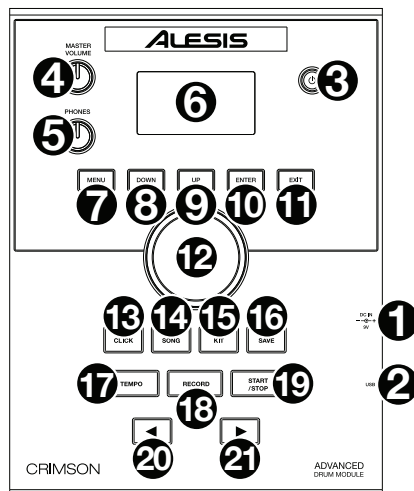
CRIMSON II KIT の最新情報（システム要件や互換性など）につきましては、製品ページをご覧ください。  
<http://alesis.jp/crimson-2-kit/>

Alesis 製品のサポートにつきましては、以下のページをご覧ください。  
<http://alesis.jp/support/>

## 機能

### トップパネル

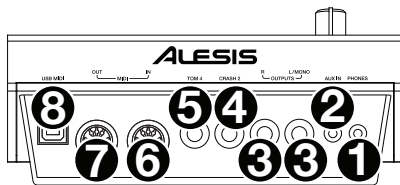
1. **電源端子**：付属の電源アダプタを接続します。
2. **USB 端子**：USB メモリを接続する USB 端子です。USB メモリには、キットの保存や呼び出し、ソングを録音やサンプルのロードなどが行えます。詳しくは、**操作>USB ドライブ**の項目をご覧ください。  
**重要**：USB メモリは FAT32 でフォーマットされている必要があります。
3. **電源ボタン**：このボタンを押して、モジュールの電源のオン・オフを切り替えます。
4. **MASTER VOLUME ノブ**：このノブで、背面の出力端子の音量を調整します。
5. **PHONES ノブ**：このノブで、ヘッドホン出力の音量を調整します。
6. **ディスプレイ**：モジュールの現在の設定や機能を表示します。詳しくは、**操作**の項目をご参照ください。
7. **MENU ボタン**：このボタンを押して、ディスプレイの KIT MENU（キットメニュー）にアクセスします。
8. **DOWN ボタン**：このボタンを押して、ディスプレイ内のひとつ下の項目に移動します。
9. **UP ボタン**：このボタンを押して、ディスプレイ内のひとつ上の項目に移動します。
10. **ENTER ボタン**：このボタンを押して、選択項目を決定したり、サブメニューに入ったりします。



11. **EXIT ボタン**：このボタンを押して、選択をキャンセルしたり、サブメニューから抜けたりします。
12. **ダイヤル**：このダイヤルを回して、現在選択している項目の値や設定を変更します。左（◀）ボタンや右（▶）ボタンでも代用できます。
13. **CLICK ボタン**：このボタンを押して、メトロノーム機能のオン・オフを切り替えます。オンの場合、ディスプレイに設定項目が表示されます。詳しくは、**操作>メトロノーム**の項目をご参照ください。
14. **SONG ボタン**：このボタンを押して、ソング選択画面にアクセスします。詳しくは、**操作>ソング**の項目をご参照ください。
15. **KIT ボタン**：このボタンを押して、キット選択画面にアクセスします。詳しくは、**操作>キット**の項目をご参照ください。
16. **SAVE ボタン**：このボタンを押して、現在のキットの設定を保存します。詳しくは、**操作>キット**の項目をご参照ください。
17. **TEMPO ボタン**：このボタンを押して、現在のテンポを表示させます。詳しくは、**操作>メトロノーム**の項目をご参照ください。
18. **RECORD ボタン**：このボタンを押して、モジュールを録音待機状態にします。録音を開始するには、ドラムパッドを叩くか **ENTER** ボタン、あるいは **START/STOP** ボタンを押します。録音をキャンセルするには、**EXIT** ボタンを押すか、**RECORD** ボタンをもう一度押します。詳しくは、**操作>ソング**の項目をご参照ください。
19. **START/STOP ボタン**：このボタンを押して、ソングの再生、停止を行います。モジュールが録音待機状態の場合は、このボタンを押すと録音が始まります。
20. **左（◀）ボタン**：このボタンを押して、選択している項目の値を減らします（または前の項目に戻ります）。**ダイヤル**を回すことでも代用できます。
21. **右（▶）ボタン**：このボタンを押して、選択している項目の値を増やします（または次の項目に移動します）。**ダイヤル**を回すことでも代用できます。

## リアパネル

1. **PHONES 端子**：1/8" ステレオプラグ（ステレオミニプラグ）のヘッドホン（別売）を接続します。ヘッドホンの音量は、トップパネルの **PHONES ノブ**で行います。
2. **AUX IN 端子**：標準的な 1/8" ステレオケーブルを使用して、携帯音楽プレーヤーや CD プレーヤーと接続します。この端子から入力された音声は、モジュールのドラムサウンドとミックスされて出力されます。
3. **OUTPUTS 端子**：標準的な 1/4" TRS ケーブルを使用して、オーディオインターフェイス、スピーカーやアンプなどと接続します。
4. **CRASH 2 入力端子**：標準的な 1/4" TRS ケーブルを使用して、付属のクラッシュ 2 シンバルパッドを接続します。



5. **TOM 4 入力端子**：標準的な 1/4" TS ケーブル、または TRS ケーブルをそれぞれ使用し、増設用のシングルタムパッド、またはデュアルゾーンドラムパッドを接続します。
6. **MIDI IN 端子**：標準的な 5 ピン MIDI ケーブルを使用し、外部 MIDI 機器の MIDI OUT 端子と接続します。
7. **MIDI OUT 端子**：標準的な 5 ピン MIDI ケーブルを使用し、外部 MIDI 機器の MIDI IN 端子と接続します。
8. **USB MIDI 端子**：USB ケーブル（別売）でコンピュータと接続します。USB ケーブルを通して、MIDI 情報のやり取りを行います。

## 操作

### キット

モジュールに内蔵されているドラムサウンドを選択して、パッドを叩いて演奏できるように組み合わせたものをキットと呼びます。

キットを選択するには：

1. **KIT** ボタンを押して、キット選択画面に入ります。
2. **ダイヤル**、または**左**（◀）ボタン、**右**（▶）ボタンを使用して、キットを選択します。プリセットキット（キット番号：001～054）とユーザーキット（055～074）を切り替えるには、**KIT** ボタンを押します。  
各キットは、ディスプレイに表示された時点ですぐに演奏可能です。

**注意**：USB メモリ内のキットを選択するには、USB ドライブの項目をご参照ください。

キットを編集するには：

1. **KIT** ボタンを押して、キット選択画面に入ります。
2. このページで：
  - **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、中央のキット名の下にあるパラメーター（**VOLUME**、**EQ HIGH**、**EQ MIDDLE**、**EQ LOW**）に移動します。
  - **ダイヤル**、または**左**（◀）ボタン、**右**（▶）ボタンを使用して、値を変更します。
3. 編集を終えたら、キットを保存しましょう。この章の後半で手順をご説明します。

キットのサウンドを編集するには：

1. **KIT** ボタンを押して、キット選択画面に入ります。
2. **MENU** ボタンを押して、KIT MENU（キットメニュー）に入ります。
3. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、**VOICE** を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
4. 編集したいサウンドのパッドを叩いて、画面に呼び出します。ディスプレイの最上段に **VOICE xxxx** とパッドの名前が表示されます。あるいは、**UP** ボタンでディスプレイの最上段に移動し、**ダイヤル**、または**左**（◀）ボタン、**右**（▶）ボタンを使用して、目的のパッド名を選択します。

5. パッドに割り当てられているサウンド名や設定可能なパラメーターが表示されます。このページ内で：

- **DOWN** ボタンと**UP** ボタンを使用して、編集したいパラメーターまで移動します。
  - ・ **VOICE 名**：パッドに割り当てられているサウンドを選択します。
  - ・ **VOLUME**：パッドの音量（00～16）を設定します。
  - ・ **PAN**：パッドの定位（-08～+08）を設定します。マイナスが左側、プラスが右側、00 がセンターです。
  - ・ **PITCH**：パッドのピッチ（-08～+08）を半音単位で設定します。
  - ・ **REVERB**：パッドのサウンドのリバーブの適用量（00～16）を設定します。
  - ・ **DECAY**：パッドのサウンドのディケイ（-05～00）を設定します。00 が初期値です。
  - ・ **MODE**：パッドの再生モード
    - ・ **POLY**：パッドを続けて叩いて発音させた分だけ音が重なって再生されます。
    - ・ **MONO**：パッドを続けて叩くと、前の音はミュートされ後から叩いた音のみが優先されて再生されます。
    - ・ **LOOP**：パッドを叩くと、サウンドが繰り返し再生されます。もう一度パッドを叩くと停止します。
    - ・ **STOP**：パッドを叩くと、再生中のソングやメトロノームを停止します。
    - ・ サウンドは再生されません。
    - ・ **TMP**：パッドを数回叩くと、そのテンポにモジュールのテンポを合わせます。サンプルも再生されます。
    - ・ **CLK**：パッドを叩くと、メトロノームのオン・オフを切り替えます。
  - ・ **MGRP**：ミュートグループ（00～16）を設定します。同じグループのパッドを叩くと、同じグループのサウンドはすべてミュートされます。
  - ・ **PAD SONG**：パッドを叩くと設定したソングがスタートします。もう一度パッドを叩くと停止します。**MODE** が **STOP** に設定されている場合は、この機能は無効です。
- **ダイヤル**、または**左**（◀）ボタン、**右**（▶）ボタンを使用して、値や設定を変更します。

6. 編集を終えたら、キットを保存しましょう。この章の**後半**で手順をご説明します。

編集したキットは、ユーザーキットのエリア（051～070）に保存できます。

**キットを保存するには：**

1. キットの編集を終えたら、**SAVE** ボタンを押します。キットの名前を変更する画面に切り替わります。
2. このページでは：
  - **ダイヤル**で、選択されている文字を変更します。
  - 別の文字に移動するには、**左**（◀）ボタン、**右**（▶）ボタンを使用します。
3. 新しいキットの名前を設定したら、**DOWN** ボタンで **SAVE**（保存する）か **CANCEL**（キャンセルしてキット選択画面に戻る）を選択します。保存するには **SAVE** を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
4. 確認画面（Save?）が表示されます。
5. **ダイヤル**、または**左**（◀）ボタン、**右**（▶）ボタンを使用して、保存先のユーザーキットの番号（User01 51～User20 70）を選択します。
6. 保存先を確認して、**ENTER** ボタンを押します。**Save OK!** と表示されれば、保存完了です。

**注意：**USB メモリ内にキットを保存するには、**USB ドライブ**の項目をご参照ください。

## ソング

モジュールには、120 のプリセットソングが内蔵されており、001~060には合わせて演奏できるフルバンド伴奏が含まれ、061~070は打楽器の「ループ」、071~120は「ワンショット」伴奏です。伴奏と電子ドラムキットの音量を別々に調整することができます。

### ソングを再生するには：

1. **SONG** ボタンを押して、ソング選択画面に入ります。モジュール内蔵のプリセットソング（ソング番号：001~050）及びユーザーソング（051~070）と、USB メモリ内のソングを切り替えるには、**SONG** ボタンを押します。
2. **ダイヤル**、または**左（◀）** ボタン、**右（▶）** ボタンを使用して、ソングを選択します。
3. このページで：
  - **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、中央のソング名の下にあるパラメーター（**ACCOMP VOL**：伴奏パートの音量、**DRUM VOL**：ドラムパートの音量）に移動します。
  - **ダイヤル**、または**左（◀）** ボタン、**右（▶）** ボタンを使用して、値を変更します。
4. **START/STOP** ボタンでソングを再生します。**START/STOP** ボタンをもう一度押すと停止します。

**重要：**USB メモリを使用して、オリジナルのファイルをソングとして再生可能です。対応しているファイルは、以下の通りです。

- **MIDI ファイル：**SMF（スタンダード・MIDI ファイル）、Type 0、16トラック以内、4 分音符あたりの解像度：480 以内、ファイル容量：128kB 以内
- **WAV ファイル：**16bit ファイル、サンプリング周波数：48kHz 以下
- **MP3 ファイル：**ビットレート：320kbps 以下、サンプリング周波数：48kHz 以下

### USB メモリにオリジナルのソングをコピーするには：

1. **操作>USB ドライブ**の項目の通り、使用する USB メモリをモジュールの USB 端子に接続し、フォーマットします。
2. フォーマットが完了したら、モジュールから一度 USB メモリを抜いてお手持ちのコンピューターに接続し、USB メモリの第一階層の「**SONG**」というフォルダに、目的のソングファイルをコピーし、再度 CRIMSON モジュールに USB メモリを接続します。

CRIMSON モジュールは、自身の演奏をモジュール本体や接続した USB メモリにレコーディングすることができます。

- モジュール本体には、MIDI ファイルとして 5 つのユーザーソングを記録できます。
- USB メモリには、MP3 ファイルとして、最大 99 までのユーザーソングを記録できます。

### ソングを記録するには：

1. 伴奏付きのソングを保存するには、**SONG** ボタンを押し、ソング選択画面にアクセスします。自身の演奏だけをソングとして保存するには、**KIT** ボタンを押して、キット選択画面にアクセスします。
2. **RECORD** ボタンを押して、録音待機状態にします。ボタンが点滅し、**Record to Usersong xxx?** とディスプレイに表示されます。
3. **ダイヤル**、または**左（◀）** ボタン、**右（▶）** ボタンを使用して、保存先のユーザーソングを選択します。

4. 録音を開始するには、パッドを叩くか、**START/STOP** ボタンを押します。プリカウントの後、**Recording...** という表示になり、録音が始まります（伴奏付きのソングを録音する場合は、伴奏が始まります）。ディスプレイの右上に、録音時間が表示されます。
5. レコーディングが終了したら、**START/STOP** ボタンを押します。**Saving...** と表示され、それが消えると、保存が完了し、前の画面に戻ります。

## メトロノーム

内蔵のメトロノーム機能は、あなたのドラム演奏のテンポをキープするのに役立ちます。

メトロノーム機能のオン・オフを切り替えるには、**CLICK** ボタンを押します。

メトロノーム機能をオンにした場合、ディスプレイには設定可能な項目が表示されます。このページで：

- **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、各パラメーター（**TIME SIG**：拍子、**VOLUME**：音量、**INTERVAL**：メトロノームの音符、**SOUND**：音色、**OUTPUT**：メトロノームの出力設定、**[ALL]** で **OUTPUT** 端子とヘッドホン端子に、**[PHONES]** でヘッドホン端子のみに出力可能）に移動します。
- **ダイヤル**、または**左（◀）** ボタン、**右（▶）** ボタンを使用して、値や設定を変更します。
- ページを抜けるには、**EXIT** ボタンを、メトロノーム機能をオフにするには、**CLICK** ボタンを押します。

テンポを変更するには：

1. **TEMPO** ボタンを押します。画面に現在のテンポ（BPM）が表示されます。
2. **ダイヤル**、または**左（◀）** ボタン、**右（▶）** ボタンを使用して、テンポを変更します。
3. **EXIT** ボタンあるいは **TEMPO** ボタンを押して前の画面に戻ります。

## トリガー設定

CRIMSON モジュールで、プレイスタイルに合わせて各パッドのトリガー設定をカスタマイズできます。この設定は、グローバルとしてすべてのドラムキットに適用されます。

トリガー設定を編集するには：

1. **KIT** ボタンを押して、キット選択画面に入ります。
2. **MENU** ボタンを押して、KIT MENU（キットメニュー）に入ります。
3. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、**TRIGGER** を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
4. 編集したいサウンドのパッドを叩いて、画面に呼び出します。ディスプレイの最上段に **VOICE xxx** とパッドの名前が表示されます。あるいは、**UP** ボタンでディスプレイの最上段に移動し、**ダイヤル**、または**左（◀）** ボタン、**右（▶）** ボタンを使用して、目的のパッド名を選択します。
5. パッドのトリガーに関するパラメーターが表示されます（すべてのパラメーターがすべてのパッドに対応しているわけではありません）。このページ内で：

- **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、編集したいパラメーターまで移動します。
  - ・ **SENSITIVITY**：ドラムパッドのヘッド（中央部分）の感度を調整します。値が高いほど小さな力で大きい音が出せるようになります。
  - ・ **RIM SENS**：ドラムパッドのリムの感度を調整します。値が高いほど小さな力で大きい音が出せるようになります。
  - ・ **HEAD-RIM ADJ**：パッドのヘッド部分とリム部分のクロストークを抑制する量を調整します。値が高いほど、クロストークを抑え、ヘッドとリム間の意図しない発音を防ぎますが、あまり値を高くし過ぎると、意図的にヘッドとリムを同時に鳴らそうと演奏しても、モジュールがそれをクロストークとして判断し、同時に発音されない場合があります。
  - ・ **THRESHOLD**：パッドを発音させるのに必要な力を調整します。
  - ・ **XTALK**：クロストークを抑制する量を調整します。値が高いほど、クロストークを抑え、他のパッド間の意図しない発音を防ぎますが、あまり値を高くし過ぎると、意図的に他のパッドを同時に鳴らそうと演奏しても、モジュールがそれをクロストークとして判断し、同時に発音されない場合があります。
  - ・ **CURVE**：パッドのペロシティカーブを選択します。パッドを叩く強さと発音されるサウンドの音量の関係を決定します。付録のペロシティカーブのグラフをご参照ください。
  - ・ **RETRIG CANCEL**：パッドを素早く連打する際、正しくどちらも発音するための間隔を調整します。意図しない誤打での発音を防ぎます。この設定が高すぎると、速く演奏した際に一部の音が届くとられないことがあります。この設定が低すぎると、再生中に余分な音が入ってしまうことがあります。
  - ・ **MIDI NOTE**：パッドを叩いた際に、モジュールの USB MIDI 端子や MIDI OUT 端子から出力される MIDI ノートナンバーを設定します。これらの端子を経由して外部 MIDI デバイス（ソフトウェア）と接続せず CRIMSON MESH KIT だけで演奏する場合は、この設定は影響ありません。

|                     |    |
|---------------------|----|
| Kick Drum           | 36 |
| Snare Drum (Center) | 38 |
| Snare Rim           | 40 |
| Tom 1 (Center)      | 50 |
| Tom 1 (Rim)         | 82 |
| Tom 2 (Center)      | 47 |
| Tom 2 (Rim)         | 80 |

|                |    |
|----------------|----|
| Tom 3 (Center) | 43 |
| Tom 3 (Rim)    | 75 |
| Tom 4 (Center) | 41 |
| Tom 4 (Rim)    | 73 |
| Ride Bow       | 51 |
| Ride Edge      | 59 |
| Ride Bell      | 53 |

|                |    |
|----------------|----|
| Crash 1        | 49 |
| Crash 1 (Edge) | 49 |
| Crash 2        | 57 |
| Crash 2 (Edge) | 57 |
| Hi-Hat Open    | 8  |
| Hi-Hat Closed  | 8  |
| Hi-Hat Pedal   | 22 |
| Hi-Hat Splash  | 23 |

- ・ **SPLASH SENS**：ハイハットペダルの「スプラッシュ」奏法の感度を調整します。
- **ダイヤル**、または左（◀）ボタン、右（▶）ボタンを使用して、値や設定を変更します。

6. 編集を終えたら、キットを保存しましょう。この章の後半で手順をご説明します。
7. **EXIT** ボタンを押して前の画面に戻ります。

## ユーティリティ

ユーティリティメニューでは、モジュールの様々な設定を行います。

ユーティリティメニューを使用するには：

1. **KIT** ボタンを押して、キット選択画面に入ります。
2. **MENU** ボタンを押して、KIT MENU（キットメニュー）に入ります。
3. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、**UTILITY** を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
4. ユーティリティメニューが表示されます。このページ内で：
  - **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、編集したいパラメーターまで移動します。
    - ・ **GM MODE**：オンの場合、MIDI IN 端子から入力された MIDI 信号に対して、GM（General MIDI）規格のサウンドを発音します。オフの場合は、入力された MIDI 信号に対して、モジュールの内蔵サウンドを発音します。詳しくは、**MIDI** の項目をご参照ください。
    - ・ **LOCAL CTRL**：オンの場合、接続されているドラムパッドを叩くとモジュール内蔵のサウンドがトリガーされます。オフの場合は、モジュールのサウンドはトリガーされず、接続されている外部 MIDI デバイスやソフトウェアのみが発音します。詳しくは、**トリガー設定**または **MIDI** の項目をご参照ください。
    - ・ **LEFTY MODE**：オンの場合、左利きの人のセッティングに対応するように、サウンドの左右の定位が逆になります。
    - ・ **AUTO POWER**：一定時間操作していない際に自動的に電源がオフになる、オートパワーオフの設定を行います（**30 分、60 分、オフ**）。
    - ・ **CONTRAST**：ディスプレイのコントラストを調整します。
  - **ダイヤル**、または**左（◀）ボタン**、**右（▶）ボタン**を使用して、値や設定を変更します。
5. **EXIT** ボタンを押して前の画面に戻ります。

## USBドライブ

USB メモリをモジュールに接続すれば、録音したソングを USB メモリに保存したり、オリジナルの WAV ファイルをロードしたり、ドラムキットを保存したりロードしたりと、読み書きの機能を拡張することができます。

USB メモリは、4〜64GB/FAT32 フォーマットのものに対応しています。

USB メモリをフォーマットするには：

1. **KIT** ボタンを押して、キット選択画面に入ります。
2. **MENU** ボタンを押して、KIT MENU（キットメニュー）に入ります。
3. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、**USB MEMORY** を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
4. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、**FORMAT** を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
5. ディスプレイに実行を確認する **The USB memory will be erased! Enter or Exit?** というメッセージが表示されます。フォーマットを実行する場合は **ENTER** ボタンを、キャンセルする場合は、**EXIT** ボタンを押します。

USB メモリに入れたオリジナルの WAV ファイルを、CRIMSON モジュールでロードして、ドラムキットに組み込むことが可能です。対応する **WAV** ファイルは、最大 **15MB** までの **16bit**で、**11.025、22.05、32、44.1、48kHz** のサンプリング周波数に対応しています。

**重要：**モジュールにロードしたサウンドは、一度ロードすると複数のドラムキットで使用できますが、サウンドを削除しますとすべてのキットからも削除されます。

#### USB メモリからサウンドをロードするには：

1. まず、CRIMSON モジュールで使用する USB メモリをモジュールの USB 端子に接続し、上記の手順で USB メモリをフォーマットすることをお勧めします。
2. フォーマットが完了したら、モジュールから一度 USB メモリを抜いてお手持ちのコンピューターに接続し、USB メモリの第一階層の「**VOICE**」というフォルダに、目的の WAV ファイルをコピーし、再度 CRIMSON モジュールに USB メモリを接続します。
3. CRIMSON モジュールの、**KIT** ボタンを押して、キット選択画面にアクセスします。
4. **MENU** ボタンを押して、KIT MENU（キットメニュー）に入ります。
5. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、**USB MEMORY** を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
6. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、**SAMPLE LOAD** を選択し、**ENTER** ボタンを押します。USB メモリの **VOICE** フォルダに含まれているサウンドファイルの一覧が表示されます。
7. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、目的のサウンドを選び **ENTER** ボタンを押します。
8. **Load to User Voice?** と表示されますので、**ENTER** ボタンを押して実行します。ファイルのサイズにもよりますが、ファイルがロードされるには少し時間がかかります。キャンセルの場合は、**EXIT** ボタンを押します。

#### USB メモリにドラムキットを保存するには：

1. CRIMSON モジュールでフォーマットした USB メモリを、CRIMSON モジュールに接続します。
2. **KIT** ボタンを押して、キット選択画面にアクセスします。
3. **ダイヤル**、または左（◀）ボタン、右（▶）ボタンを使用して、キットを選択します。プリセットキット（キット番号：001～054）とユーザーキット（055～074）を切り替えるには、**KIT** ボタンを押します。
3. **MENU** ボタンを押して、KIT MENU（キットメニュー）に入ります。
4. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、**USB MEMORY** を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
5. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、**KIT SAVE** を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
6. **ダイヤル**、または **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、保存先のドラムキット（00～99）を選択します。キット番号の隣にキット名が表示されていないものは、まだ保存されていない空のキットです。
7. 保存先のキット番号を選択したら、**ENTER** ボタンを押します。既に保存されているキット番号を選択した場合は、上書きしてもよいかどうかの確認メッセージ **Data will be overwritten! Enter or Exit?** が表示されます。上書きしてもよければ、**ENTER** ボタンを押します。キャンセルの場合は、**EXIT** ボタンを押します。

## USB メモリからドラムキットをロードするには：

1. ドラムキットを保存してある USB メモリを、CRIMSON モジュールに接続します。
2. CRIMSON モジュールの、**KIT** ボタンを押して、キット選択画面にアクセスします。
3. **MENU** ボタンを押して、KIT MENU（キットメニュー）に入ります。
4. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、**USB MEMORY** を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
5. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、**KIT LOAD** を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
6. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、目的のキット番号（01～99）を選択します。キット番号の隣にキット名が表示されていないものは、まだ保存されていない空のキットです。
7. 目的のキット番号を選択したら、**ENTER** ボタンを押します。
8. どのユーザーキット番号にロードするか（**Load to User\_\_\_?**）という表示が出ますので、**ダイヤル**、または**左（◀）** ボタン、**右（▶）** ボタンを使用して、ロード先のキット番号を選択します。
9. **ENTER** ボタンを押して決定します（または **EXIT** ボタンでキャンセルします）。ドラムキットの容量によって、ロードに時間がかかる場合があります。

## MIDI

CRIMSON キットを外部の MIDI デバイスなどに接続すると、以下のことが可能になります。

- CRIMSON II KIT のパッドを叩いて、外部 MIDI 機器やソフトウェア音源のサウンドをトリガーできます。
- 外部 MIDI 機器から、CRIMSON モジュールのサウンドを鳴らすことができます。

各パッドから送信される MIDI ノートナンバーを変更するには、トリガー設定の項目をご覧ください。

## MIDI 設定を行うには：

1. **KIT** ボタンを押して、キット選択画面に入ります。
2. **MENU** ボタンを押して、KIT MENU（キットメニュー）に入ります。
3. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、**UTILITY** を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
4. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、**GM MODE** を選択します。
5. **ダイヤル**、または**左（◀）** ボタン、**右（▶）** ボタンを使用して、オンとオフを切り替えます。
  - **オンの場合**：MIDI IN 端子から入力された MIDI 信号に対して、GM（General MIDI）規格のサウンドを発音します。
  - **オフの場合**：入力された MIDI 信号に対して、モジュールの内蔵サウンドを発音します。
6. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、**LOCAL CTRL** を選択します。

7. **ダイヤル**、または**左 (◀)** ボタン、**右 (▶)** ボタンを使用して、オンとオフを切り替えます。
  - **オンの場合**：接続されているドラムパッドを叩くとモジュール内蔵のサウンドがトリガーされます。
  - **オフの場合**：モジュールのサウンドはトリガーされず、接続されている外部 MIDI デバイスやソフトウェアのみが発音します。各パッドから送信される MIDI ノートナンバーを変更するには、**トリガー設定**の項目をご覧ください。
8. **EXIT** ボタンを押して前の画面に戻ります。

**モジュールのプログラムにアクセスするには**：MIDI キーボードやシーケンサーなどの外部 MIDI デバイスを使用すると、CRIMSON モジュールのドラム以外（ピアノやベース、ストリングスなど）のサウンドライブラリ（プログラム）にアクセスできます。MIDI チャンネル 1～16 の信号を受信し、プログラムチェンジ信号にも対応しています。但し、10 チャンネルはドラムサウンド固定です。

#### 外部シーケンサーに録音するには：

1. 標準的な 5 ピン MIDI ケーブル（別売）を使用して、モジュールの MIDI OUT 端子と外部 MIDI シーケンサーの MIDI IN 端子、モジュールの MIDI IN 端子と外部シーケンサーの MIDI OUT 端子をそれぞれ接続します。
2. シーケンサーのトラックの MIDI チャンネルを **10ch** に設定して、シーケンサーの録音を開始します。
3. CRIMSON MESH KIT を叩いて演奏します。
4. シーケンサーの録音を停止します。シーケンサーに演奏が記録されました。

### 工場出荷状態への初期化

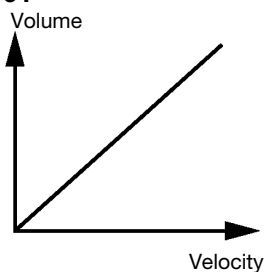
#### モジュールを工場出荷状態へ初期化するには：

1. **KIT** ボタンを押して、キット選択画面にアクセスします。
2. **MENU** ボタンを押して、KIT MENU（キットメニュー）に入ります。
3. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、**FACTORY RESET** を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
4. **DOWN** ボタンと **UP** ボタンを使用して、以下の項目のいずれかを選択します。
  - ・ **KIT**（ユーザーキットのみリセットします）
  - ・ **SONG**（ユーザーソングのみリセットします）
  - ・ **VOICE**（ユーザーサウンドのみリセットします）
  - ・ **TRIGGER SETTINGS**（すべてのトリガー設定をリセットします）
  - ・ **ALL**（上記すべてをリセットします）
5. データが初期化されてしまう確認のメッセージ **xxx will be lost! Enter or Exit ?** が表示されますので、**ENTER** ボタンで実行するか、または **EXIT** でキャンセルします。
6. しばらく待ると、**Reset OK!** と表示され、初期化が完了します。
7. **EXIT** ボタンを押して、前の画面に戻ります。

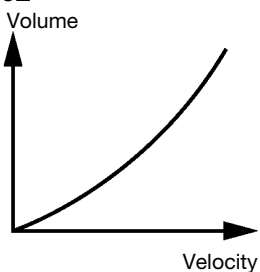
## 付録

## ベロシティ・カーブ

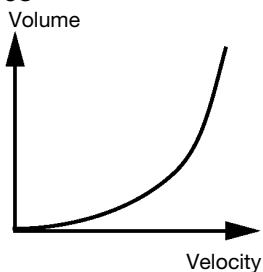
01



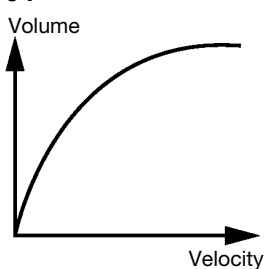
02



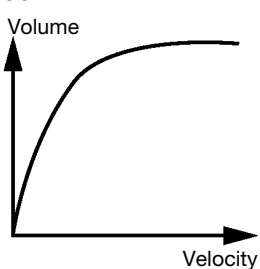
03



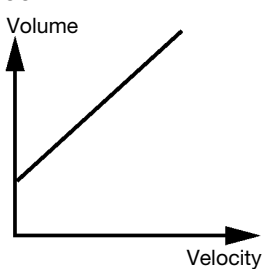
04



05



06



## MIDI ノートナンバー (初期値)

| パッド                 | #  |
|---------------------|----|
| Kick Drum           | 36 |
| Snare Drum (Center) | 38 |
| Snare Rim           | 40 |
| Tom 1 (Center)      | 50 |
| Tom 1 (Rim)         | 82 |
| Tom 2 (Center)      | 47 |
| Tom 2 (Rim)         | 80 |

| パッド            | #  |
|----------------|----|
| Tom 3 (Center) | 43 |
| Tom 3 (Rim)    | 75 |
| Tom 4 (Center) | 41 |
| Tom 4 (Rim)    | 73 |
| Ride Bow       | 51 |
| Ride Edge      | 59 |
| Ride Bell      | 53 |

| パッド            | #  |
|----------------|----|
| Crash 1        | 49 |
| Crash 1 (Edge) | 49 |
| Crash 2        | 57 |
| Crash 2 (Edge) | 57 |
| Hi-Hat Open    | 8  |
| Hi-Hat Closed  | 8  |
| Hi-Hat Pedal   | 22 |
| Hi-Hat Splash  | 23 |

**技術仕様**

**最大同時発音数：**64

**ドラムキット：**74（プリセット：54、ユーザー：20）、9（GM キット）

**サウンド：**671（ドラム、パーカッション、SFX）、14（ハイハット・コンビネーション）、最大 99 のユーザー・サンプル（計 15MB まで）

**シーケンサー：**125 パターン（120 プリセット、5 ユーザー）、USB メモリには最大 99 のユーザー・ソング、解像度：1/4 音符あたり 192 ティック、リアルタイム・レコーディング、最大記憶ノート数：1 ユーザー・ソングあたりおよそ 6800 ノート

**テンポ：**30～280 BPM

**端子：**25 ピン・トリガー用スネークケーブル端子、増設用トリガー入力端子 x 2（1/4" TS 端子）、メイン出力端子（1/4" TRS L/R）、ヘッドホン端子（ステレオミニプラグ）、外部入力端子（ステレオミニプラグ）、MIDI 入出力端子（5 ピン DIN）、USB 端子、USB ホスト端子（USB メモリ接続用）

**電源：**AC アダプタ（9V DC、500mA、センタープラス）

**サイズ：**約 230 x 160 x 69mm

**重量：**約 0.5kg

**技術仕様**

Alesis は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

その他すべての製品名あるいは会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

# 無料修理規定

- 1. 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。
- 2. ご贈答品などで本書に記入してあるお買上げ販売店に修理をご依頼できない場合には弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
- 3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) ご使用上の誤り、及び不当の修理や改造による故障および損傷。
  - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
  - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
  - (ニ) 消耗部品を取替える場合。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 4. inMusic Japanは、製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的、及び間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づきinMusic Japanが負う責任は、販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は、inMusic Japanでのみ行われるものとします。

\* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。  
したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社カスタマー・サポート へご相談ください。

| 保証書            |      |
|----------------|------|
| 製品名:           |      |
| 製造番号:          |      |
| ご購入日:          |      |
| 保証期間:ご購入日から一年間 |      |
| お客様            | 販売店名 |
| お名前:           | ご住所: |
| ご住所:           |      |
| お電話:           | お電話: |

inMusic Japan株式会社 カスタマー・サポート  
〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23 オーク南麻布ビルディング6F  
お問い合わせ: <http://alesis.jp/support/>

- ・ 本書に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
- ・ 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- ・ 本書は日本国内においてのみ有効です。